

令和6年男女共同参画プラン中間見直しにおける高校生アンケート

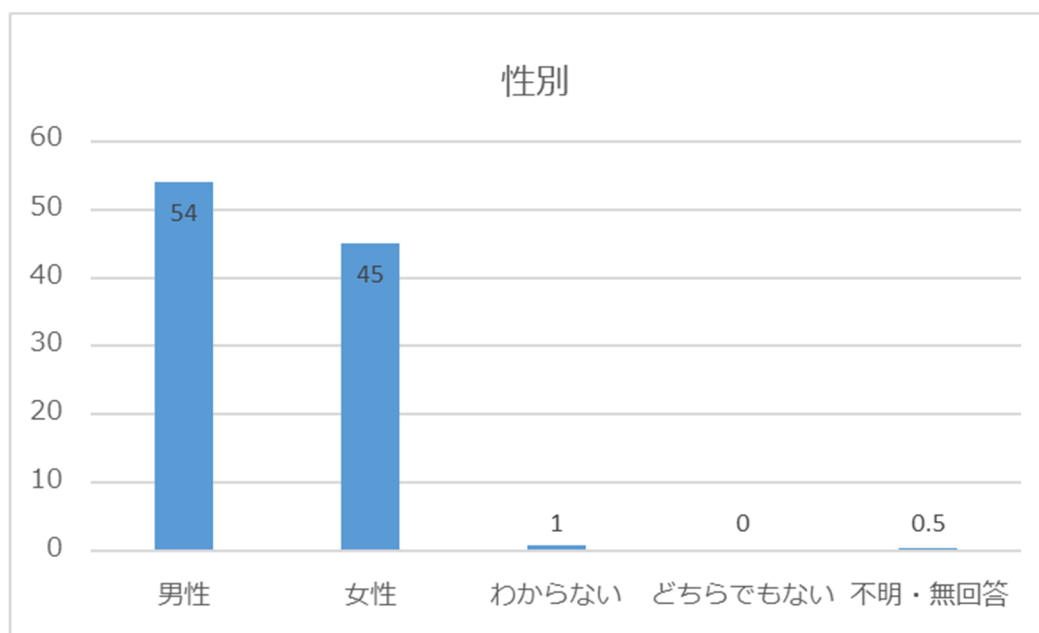
調査対象者	山崎高校、伊和高校、千種高校 各校2年生
調査方法	オンラインによる回答
調査期間	令和6年9月4日～10月20日

配布数	有効回答数	有効回収率
222件	179件	80.6%

回答結果の割合「％」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100%にならない場合があります。

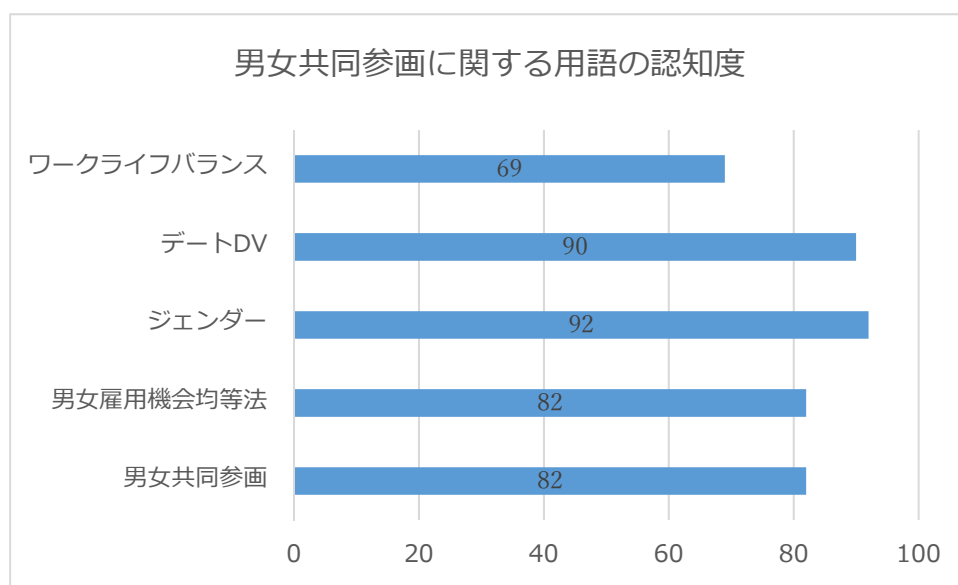
問1 お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたの性別を教えてください。

回答者のうち、「男性」が54%で最も高く、次いで「女性」が45%、「わからない」が1%、「どちらでもない」「不明・無回答」が合わせて0.5%となっています。

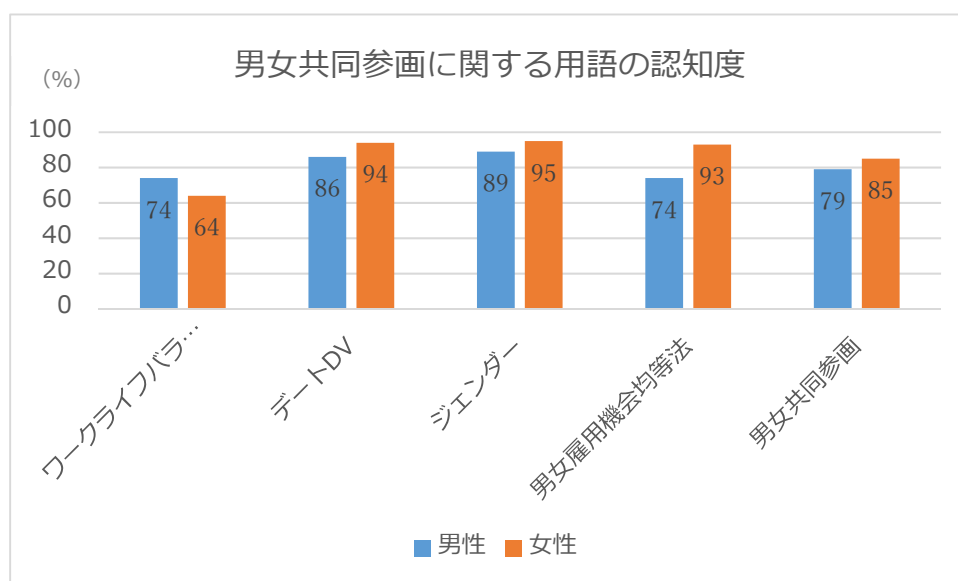


問2 次にあげる言葉やことがらについて、知っているか、または聞いたことがありますか。あるものすべてを選んでください。

男女共同参画に関する用語の認知度については、「ジェンダー」が92%で最も高く、次いで「デートDV」が90%となっています。いずれの用語に関しても認知度が高くなっています。

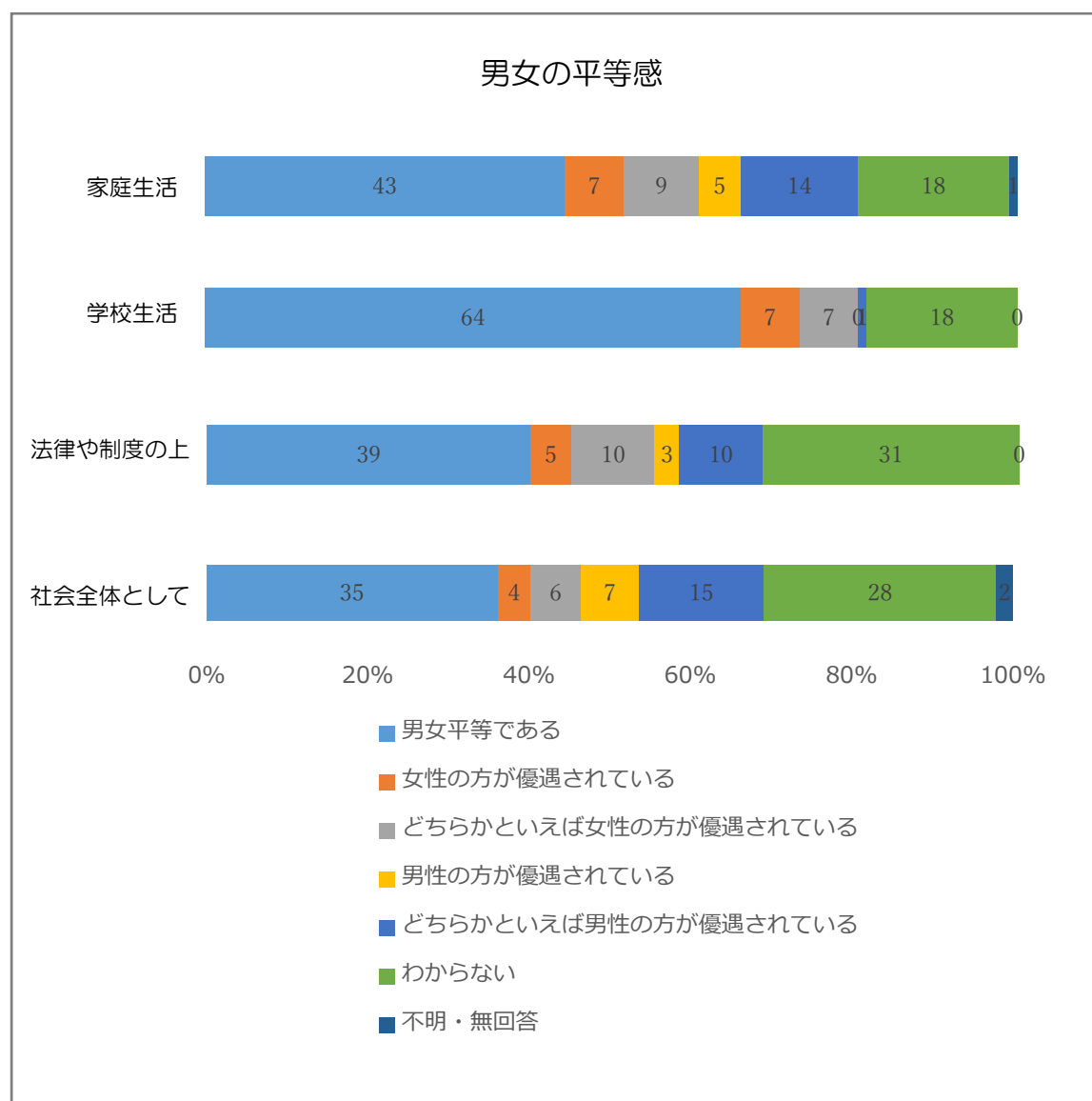


性別でみると、男性・女性いずれも「ジェンダー」の割合が最も高くなっています。

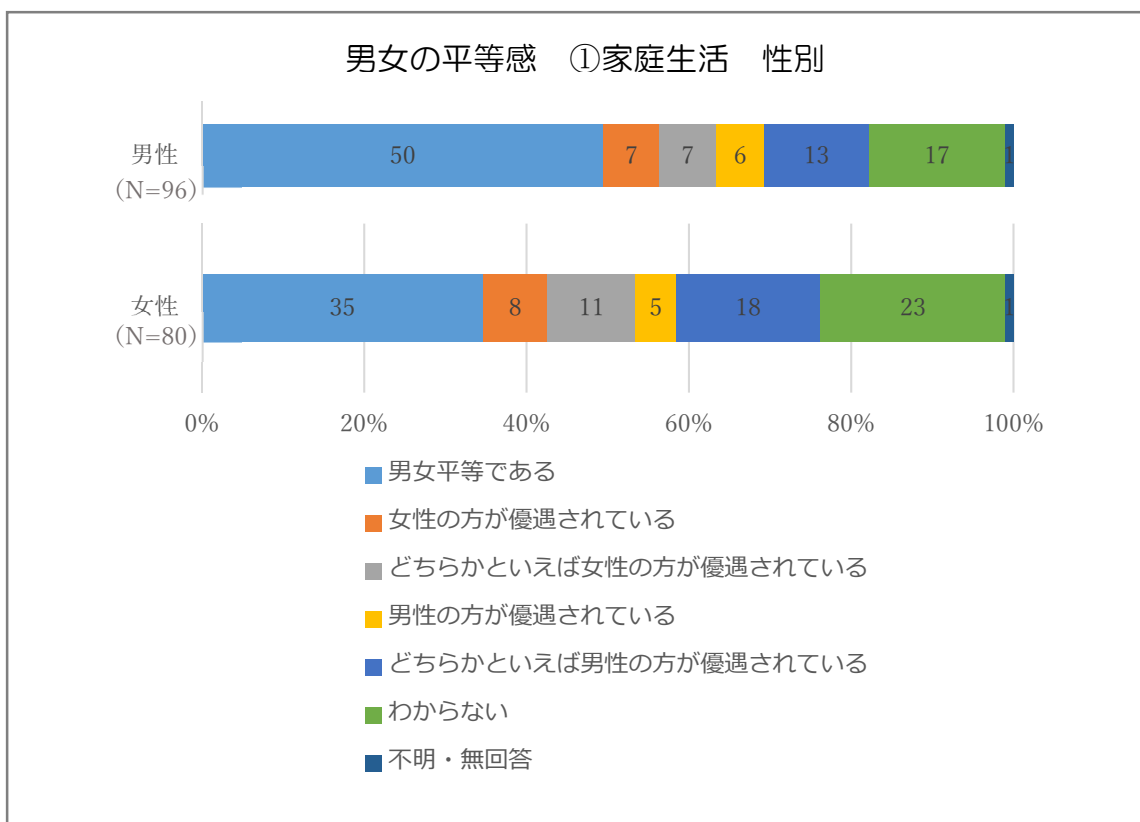


問3 次にあげる分野で、男女は平等だと思いますか。あてはまる番号をそれぞれの項目について1つ選んでください。

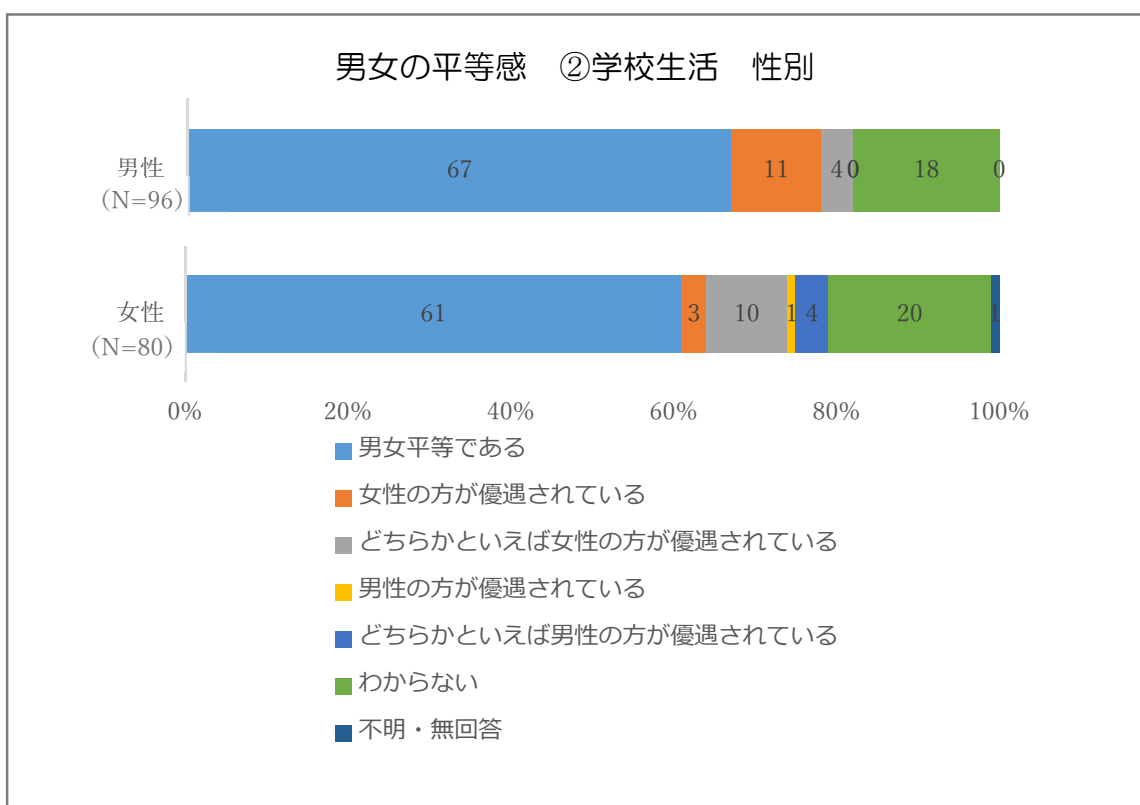
男女の地位の平等感について、『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）では、「社会全体として」みた場合が22%で最も高く、いずれの項目についても「わからない」の割合が高い傾向にあります。



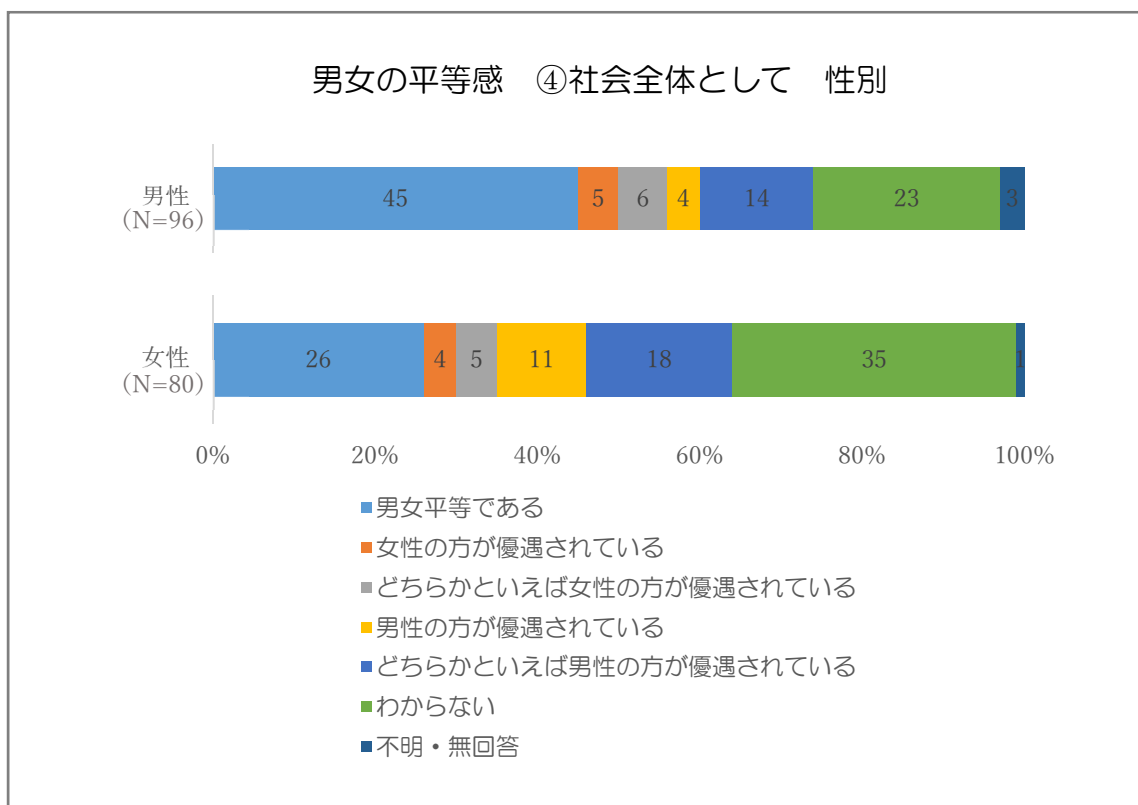
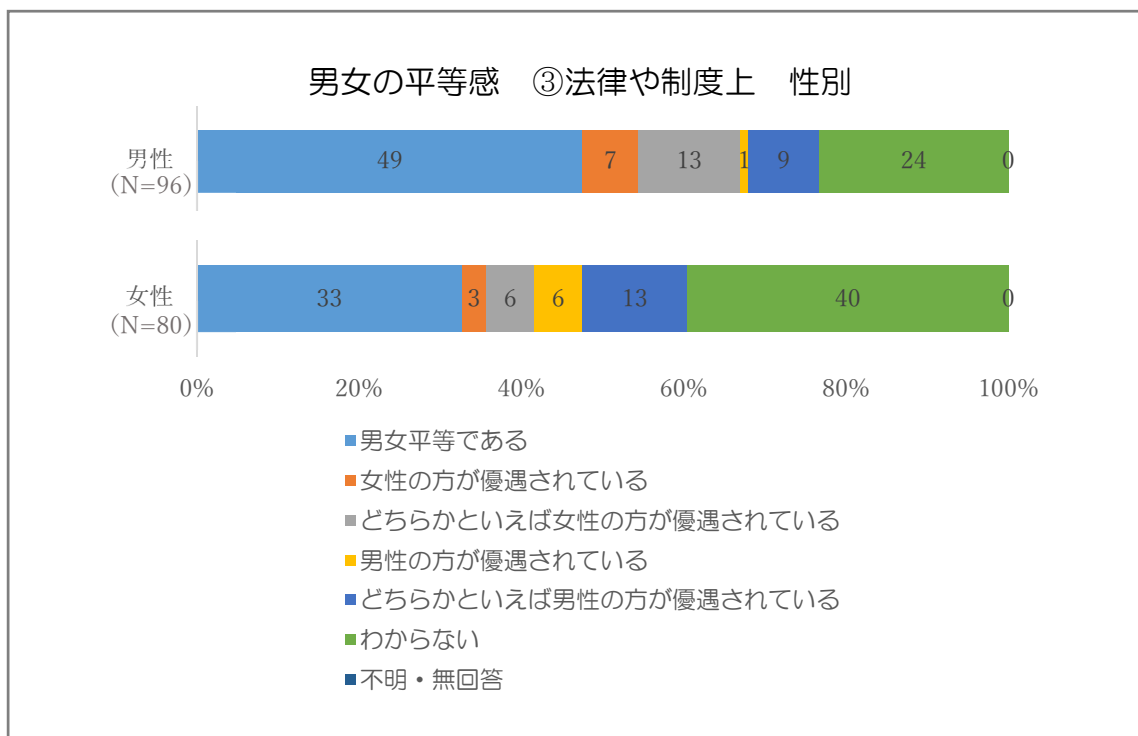
性別でみると、男性の「男女平等である」が 50%である一方、女性は 35%に留まっており、「わからない」(23%)が男性(17%)より 6 ポイント高くなっています。



学校生活では、男女ともに『女性優遇』(「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計)の割合が、『男性優遇』より高くなっています。

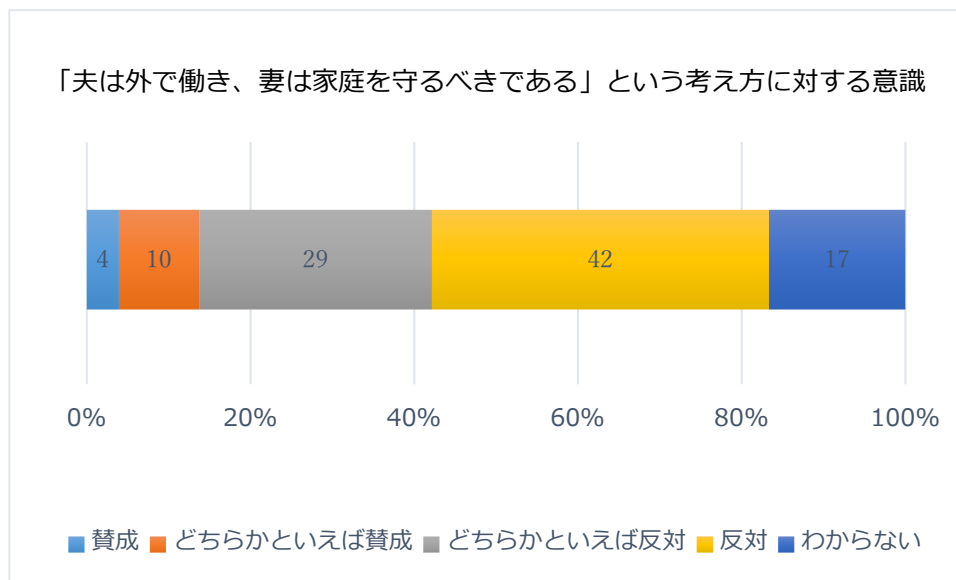


法律や制度上では、男性は『女性優遇』が『男性優遇』より 10 ポイント高く、女性は『男性優遇』が『女性優遇』より 10 ポイント高くなっています。「わからない」と答えた女性の割合がとくに高くなっています。

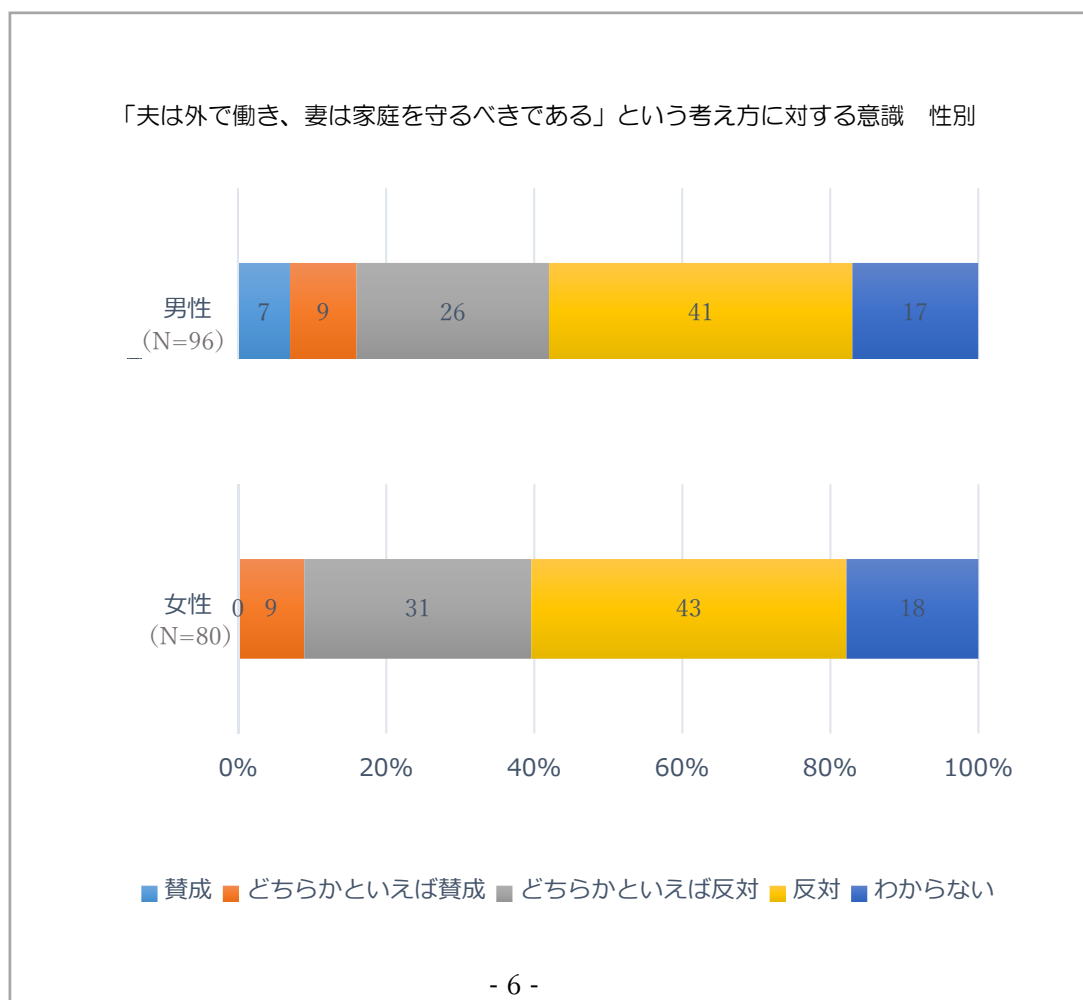


問4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という、性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。考えに近いものを1つ選んでください。

「反対」が42%で最も高く、次いで「どちらかといえば反対」が高くなっています。

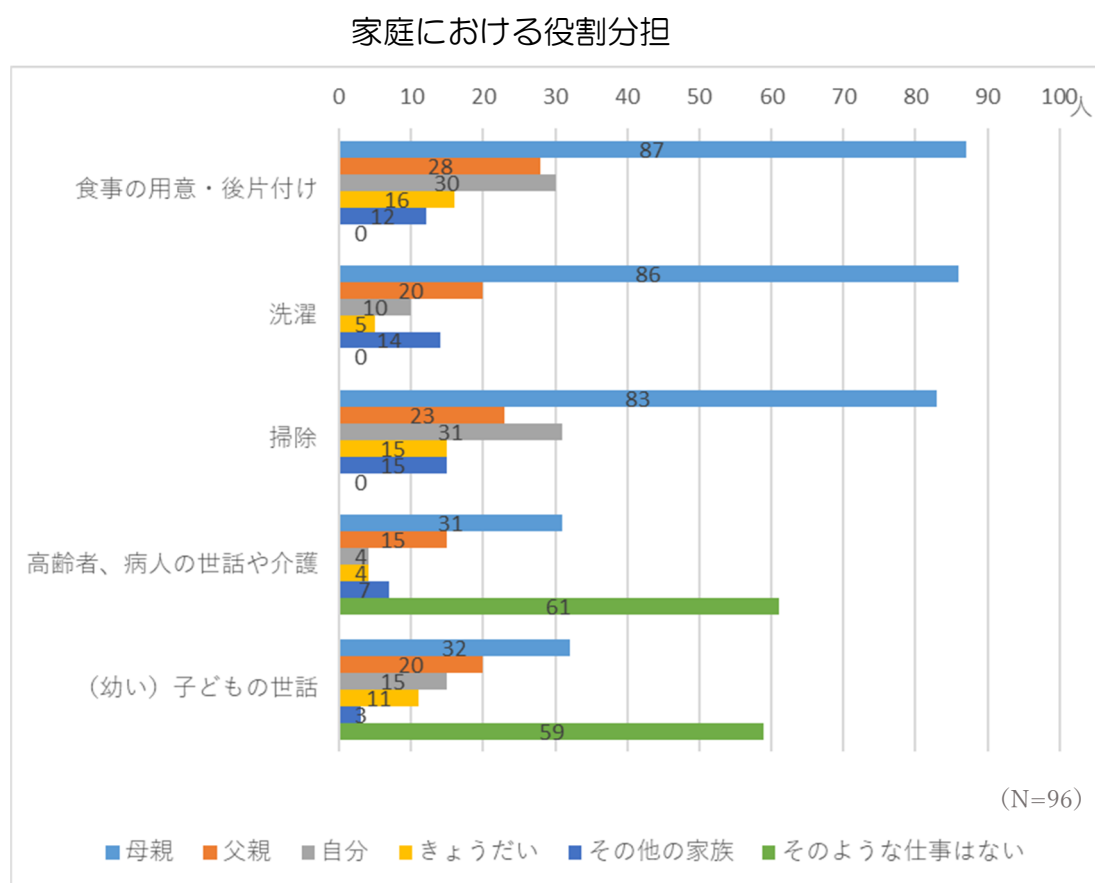


女性の「賛成」は0%です。



問5 あなたの家庭では、次にあげるようなことを主に行っているのは誰ですか。あてはまる番号をそれぞれの項目について1つ選んでください。ただし、同程度に協力して行っている場合は、その人すべての番号を選んでください。

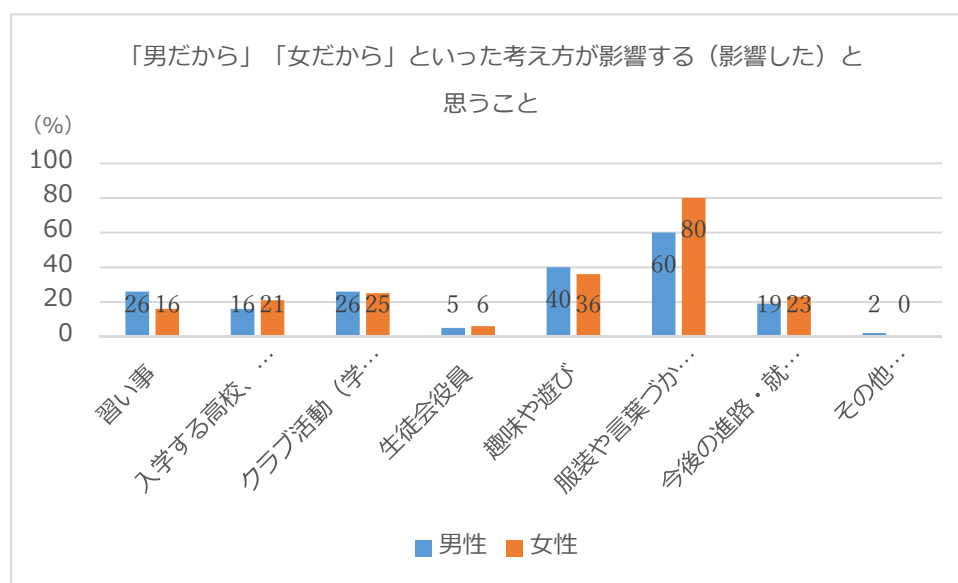
どの項目においても「母親」の割合が高くなっています。



問6 あなたが次のことを考えるとき、「男だから」、「女だから」といった考え方が影響する（または影響した）と思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 習い事
- 入学する高校、選考する学科
- クラブ活動（学校外のものも含む）
- 生徒会役員
- 趣味や遊び
- 服装や言葉づかい、行動
- 今後の進路・就職先
- その他

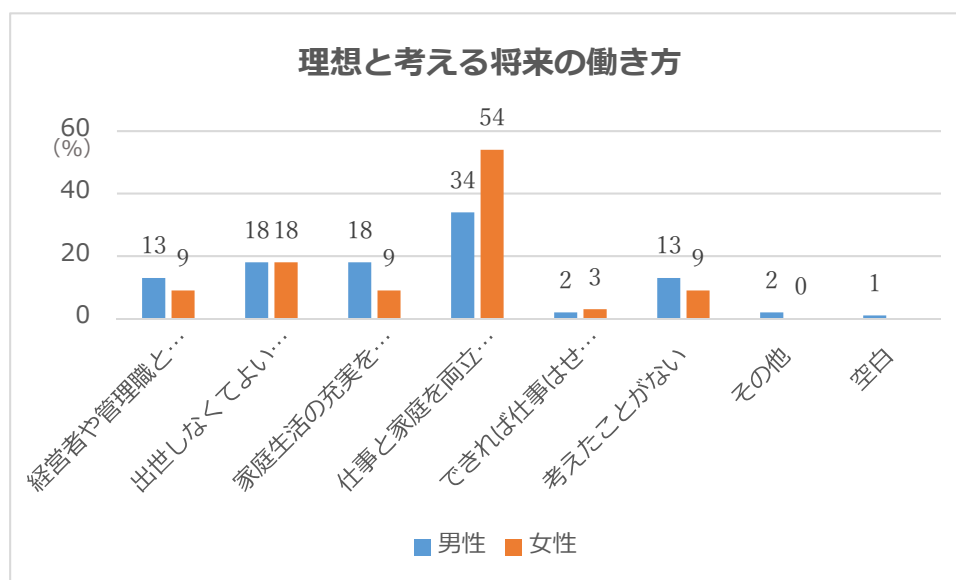
男女ともに、「服装や言葉づかい、行動」がもっとも高くなっており、次いで、「趣味や遊び」が続いています。



問7 あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。考えに近いものを1つ選んでください。

- 経営者や管理職となるよう努力し、仕事で自分の力を発揮したい。
- 出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい
- 家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい
- 仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい
- できれば仕事はせず、家庭で家事・育児をしたい。
- 考えたことがない
- その他

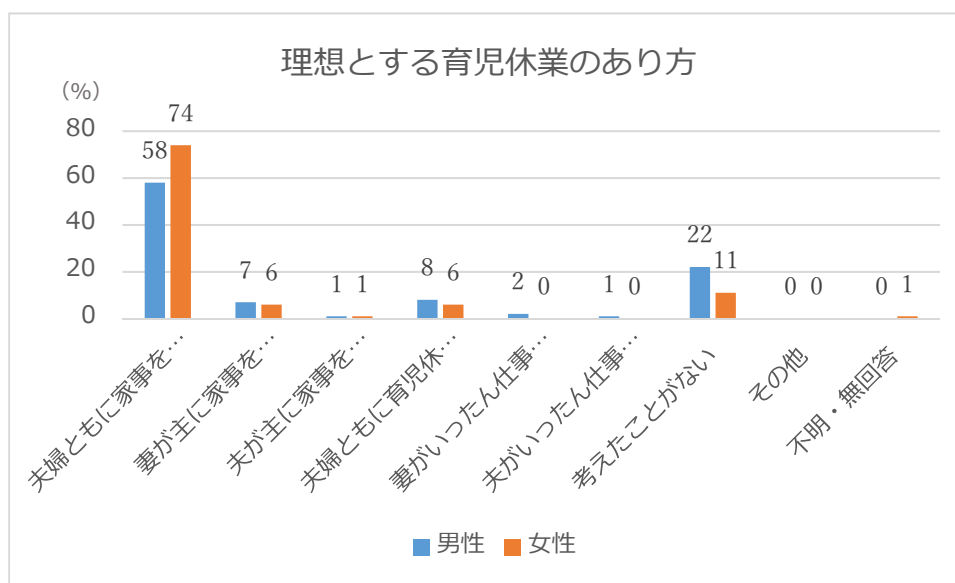
女性の「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい」が54%で、男性（34%）より20ポイント高くなっています。



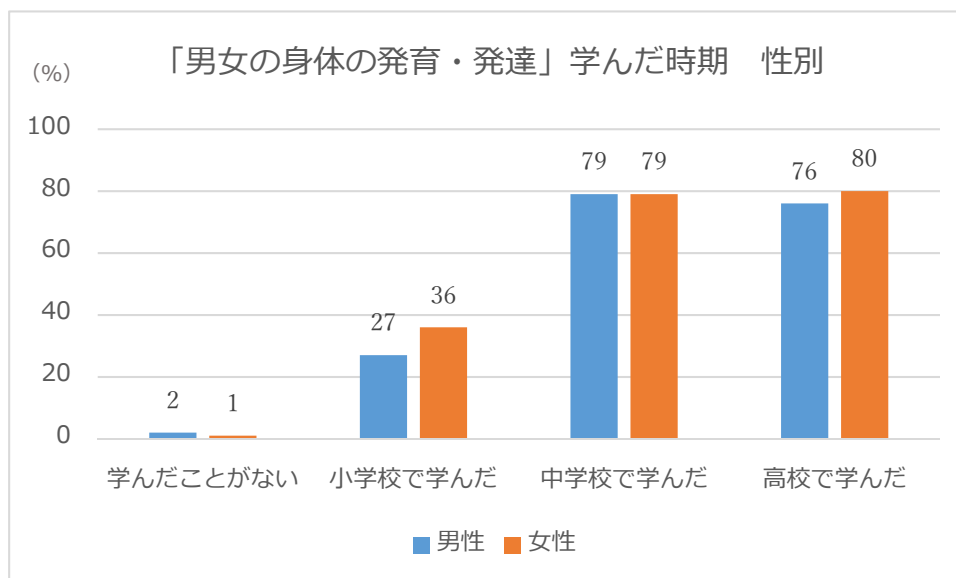
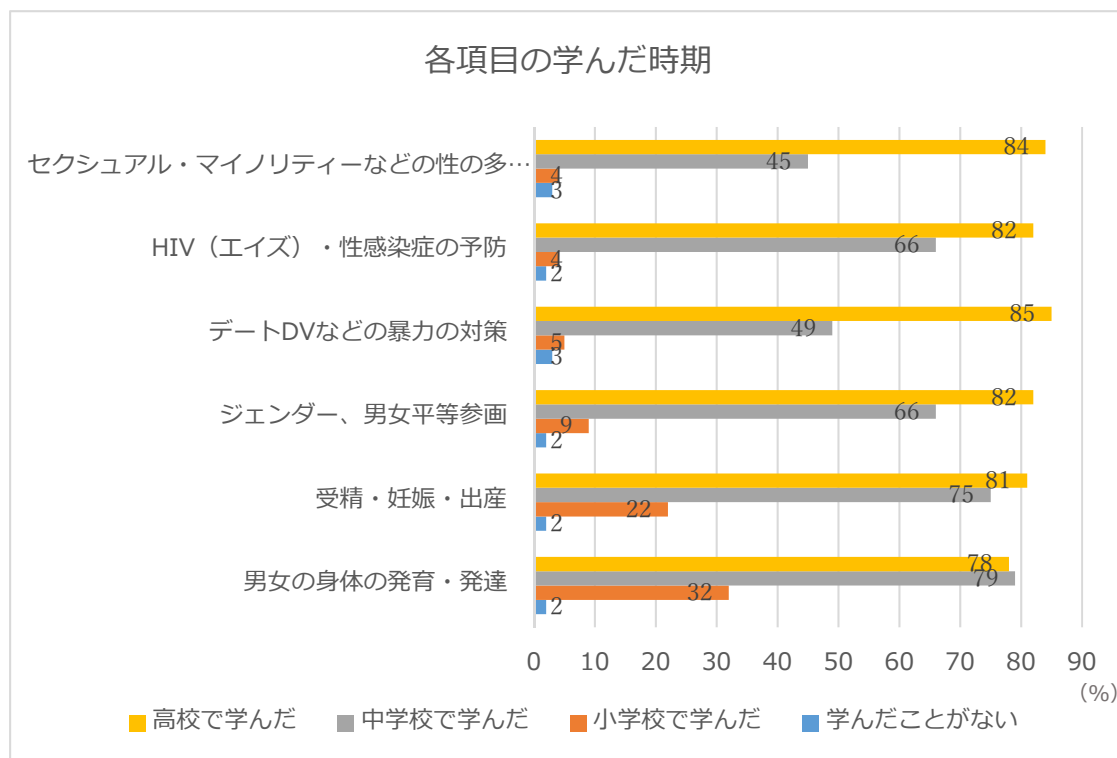
問8 もしあなたが将来配偶者（夫や妻）やパートナー、子どもを持ったとき、家庭の役割や子育てをどのように行っていきたいと思いますか。考えに近いものを1つ選んでください。

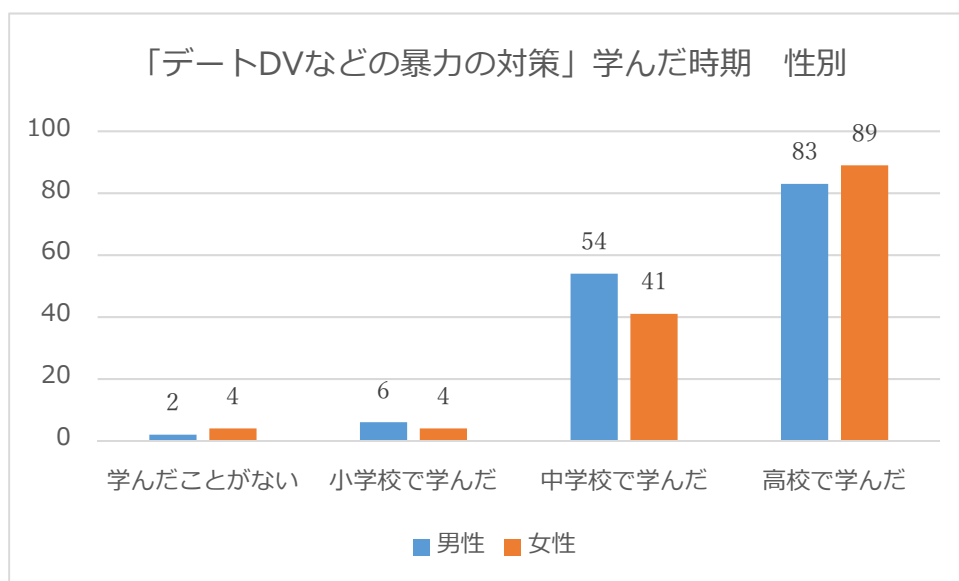
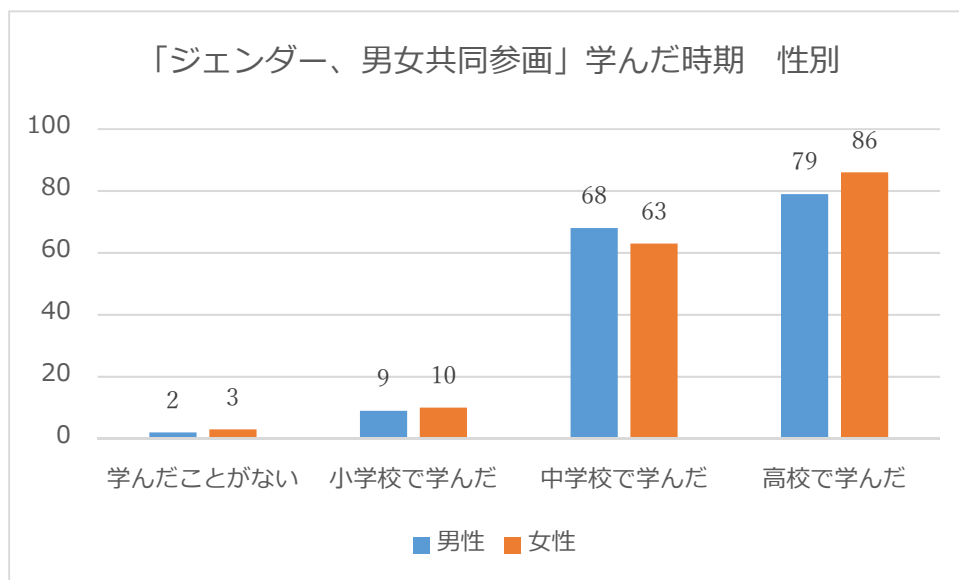
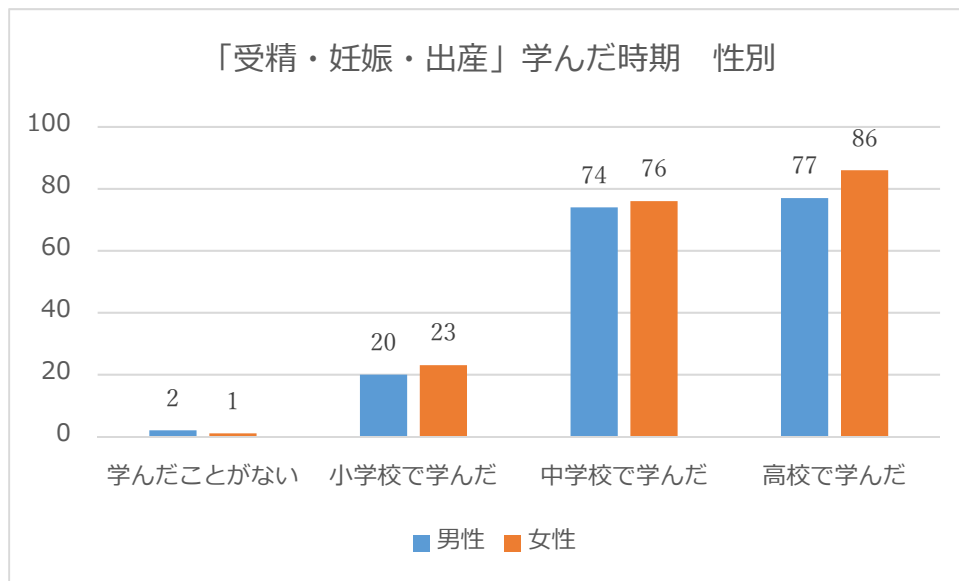
- 夫婦ともに家事を協力して行ったり、お互いが育児休業を取得して子どもを育てる
- 妻が主に家事を行ったり、育児休業を取得して子どもを育てる
- 夫が主に家事を行ったり、育児休業を取得して子どもを育てる
- 夫婦ともに育児休業を取らずに保育施設の利用や家族などの協力により子どもを育てる
- 妻がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- 夫がいったん仕事を辞めて子育てに専念する
- 考えたことがない
- その他

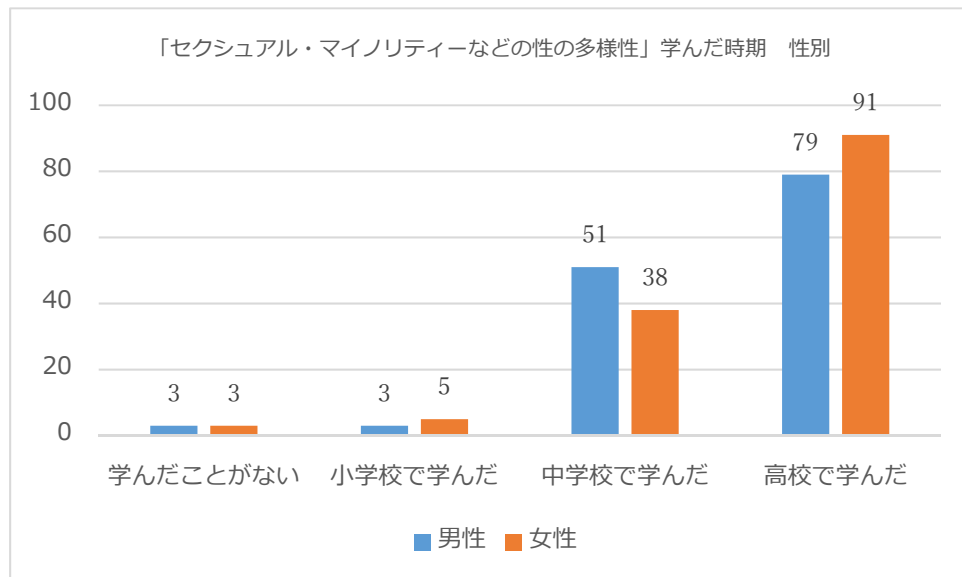
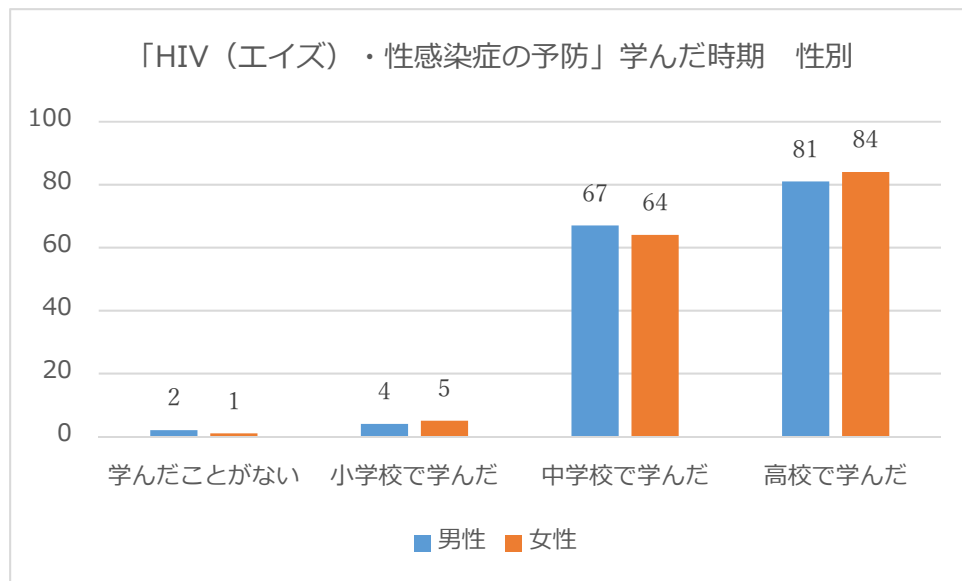
男女ともに、「夫婦ともに家事を協力して行ったり、お互いが育児休業を取得して子どもを育てる」が最も高くなっています。男性の「考えたことがない」が22%で、女性より11ポイント高くなっています。



問9 次のテーマについて、あなたは学んだことがありますか。また、学んだことがある場合、その「学んだ時期」について当てはまると思う番号を選んでください。



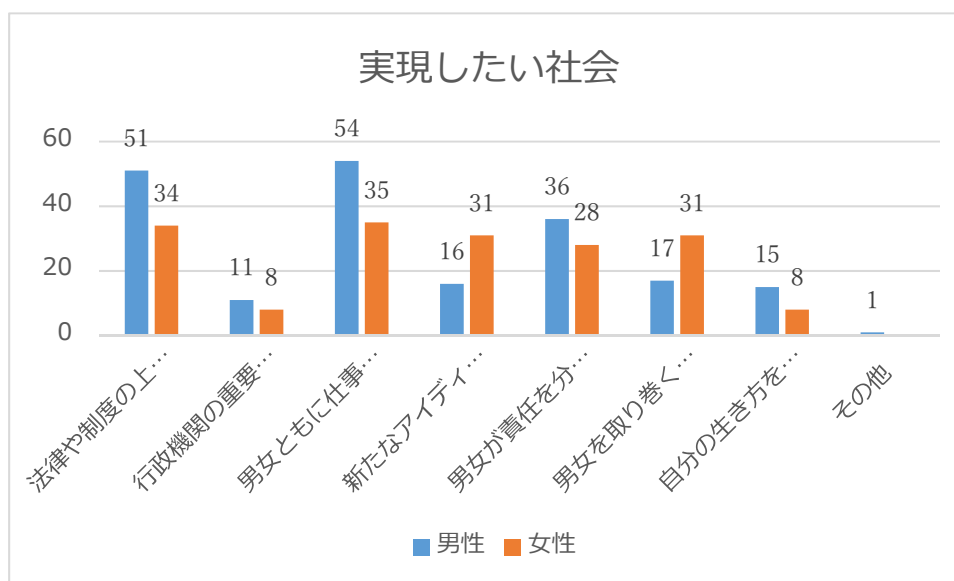




問 10 「男女共同参画」とは、次にあげるような社会であると考えられています。この中であなたが実現したい社会はどれですか。考えに近いものを3つまで選んでください。

- 法律や制度の上で男女の差がない社会
- 行政機関の重要な役職や企業の管理職などに一定の割合で女性が就任している社会
- 男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会
- 新たなアイディアや色々な考え方が活かされる社会
- 男女が責任を分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会
- 男女を取り巻く偏見や昔からの決まり、慣習、しきたりなどが解消された社会
- 自分の生き方を自身で設計・実現でき、一人ひとりが自立した豊かで活力のある社会
- その他

男女ともに、「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」が最も高く、次いで「法律や制度の上で男女の差がない社会」と続いています。



《アンケート結果から》

- 高校生の世代は男女の地位の平等感が 18 歳以上のアンケート結果より高い。
- 学生生活においては「男だから」「女だから」といった考えが影響するものは低いですが、服装や言葉づかい、行動において影響する(した)と答えた割合が高い。
- ワークライフバランスや性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会をめざして、男女を取り巻く偏見や慣習等の解消に向けた施策の展開を図る必要がある。